

1 対話サロンによる協働の地域づくりフォーラム 2015 について

「人口減少・超高齢化社会」により、急激に変化している社会情勢に対応するためには、地方の住民が、何を行うべきか自ら考え、責任を持って戦略的に行動することが求められています。こういった行動に基づいたまちづくりに必要とされる「SHIEN」の手法について、講演や対話形式により体感し、普段の生活に生かしてもらうためにフォーラムが開催されました。

また、まちづくりにおいては、多様な主体が参画することが必要であるとの考えから、高等教育機関の学生から参加者を募り、運営から携わることで、対話の必要性やフォーラムの効果などをより一層感じてもらうことをめざしました。

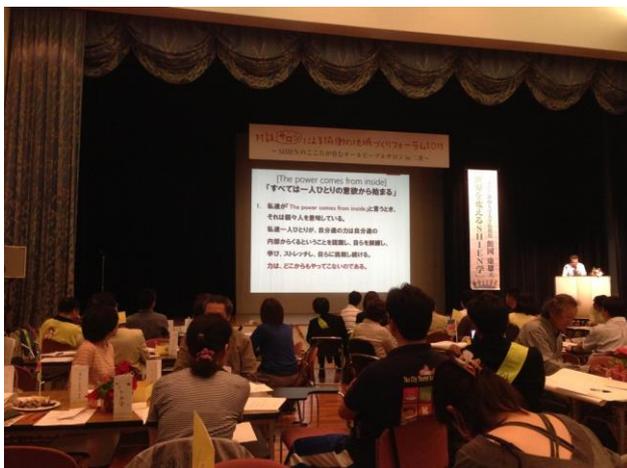
2 取組概要

フォーラムでは学生に複数の役割が与えられており、フォーラムに参加する者（6人）と、子どもの相手をする者（3人）に分かれて活動しました。

○会場設営



○基調講演（「世界を変えるSHIEN学」 静岡大学大学院教授 舘岡氏）



○パネルディスカッション

- ・牧之原市長 西原 氏
- ・ICFプロフェッショナル認定コーチ 井原 氏
- ・万協製薬株式会社代表取締役社長 松浦 氏
- ・三重大学副学長 西村 氏
- ・ヤナセクリニック院長 柳瀬 氏
- ・津市長 前葉 氏
- ・静岡大学大学院教授 舘岡 氏
- ・三重県少子化対策課長 藤川 氏



○サロン（グループワーク）

15グループに分かれ、1グループ4人～7人でグループワークを実施しました。参加者が自分のまちの良い面・悪い面を付箋に書き出して発表し、そこからグループとして検討する内容を決定し、解決策を探りました。

